



「超・お祭り」オープニングで挨拶する日下部肇・50周年プロジェクト担当理事



業界の仲間の顔を知り、 業界はひとつになった

イベント総合プロデューサー（株式会社アソシエイツ代表取締役社長）

永門 大輔

ワッショイ、ワッショイ（ワッショイ、ワッショイ）ワッショイ、ワッショイ（ソレ、ソレ、ソレ、ソレ）大きな掛け声が、会場に響き渡る。参加した全ての方々から笑顔が、笑い声が溢れる。最後の「東デ協音頭」は、それは、それは圧巻だった。業界がひとつになった瞬間でもありました。

今回、大事にした企画のポイントのひとつに、「組合員の交流」がひとつの目的でありました。同じディスプレイという職種の中で仕事をしても、中々「仲間」と顔を合わせることは多くありません。この二日間は、ボランティアスタッフ、来場した組合員の方々が、上も下もなく、横の繋がりを大切にこのイベントを作り上げていく姿は、今後の業界の発展、そして強さを再確認できた瞬間でした。普段はどんな人かも知らなかった「業界の仲間の顔」を知れたことが、本イベントの一番の収穫だったのではないのでしょうか。

東デ協は、所属する会社の「全ての社員の為に存在」しているということが少しでも色々な方々に伝わることを願っています。

私も、この業界で働き始めて早20年が経とうとしています。自分自身を育ててくれた、この業界に少しでも恩返しができたことを、本当に嬉しく、誇りに思います。

最後に、一緒に作り上げて頂いた、制作委員の皆様、そしてお力添えを頂いた組合員の皆様、本当にありがとうございました。「次は50年後」と言わず、また、何かやりましょう！（笑）

これがプロのお祭りだ！超・お祭り。